

(様式4)

事業所名 グループホームあい愛塩尻

## 目標達成計画

作成日: 令和 元 年 10 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	厳寒期や盛夏の間は外出が困難であったことに加え、ホーム内で終日過ごすことが多くなってきている。気候の良し悪しに限らず表に出て季節を肌で感じたり、近隣を含めた外出の機会を増やし、生活の活性化が求められる。	1日一回は、屋外に出る事が日課になるように、1人ひとりの希望することを書き留め、希望に添った活動の支援を行う。	①ホームの屋外ベンチで外気浴をしたり、前庭やケアガーデンで花や野菜の生育を楽しむ。 ②個別に、周辺への散歩や買い物に出かける。 ③行きたい所を入居者と話し合い、外出計画を立て、楽しみのある外出を企画・実施する。	12ヶ月
2	35	年2回消防署立ち合いで、入居者と職員が全員参加し避難訓練と防災訓練を実施しているが、地元の住民や消防団との協力体制の構築や合同訓練が実施できていない。入居者が安全に避難できる体制づくりと訓練への取り組みが必要である。	地元住民や消防団、消防署との連携して、昼夜を問わず入居者が安全に避難や待機ができるように、地域の方々とグループホームの災害対策の協力体制を築く。	① 民生委員と、現在のグループホームの災害対策における問題点と課題の共有を図る。 ② 民生委員・地元消防団と共に、グループホームの災害対策マニュアルを再点検する。 ③ 地元住民・消防団、消防署と一緒に、避難訓練を実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。